

【1 分解説】SDG サミットとは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 研究理事 村上 隆晃

SDG サミット（首脳級の持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム）は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた国連の会議であり、4年に一度国連総会の一環として9月にニューヨークで開催されます。SDG サミットでは、各国や国際機関、市民社会のリーダーがSDGsの進捗状況や課題、取り組みを報告し、協力や支援を促進します。

前回2019年のSDG サミットでは、「SDG サミット政治宣言」が採択され、SDGs達成に向けた取り組みを加速化していくことが各国首脳等の中で確認されました。同サミットでは当時の安倍首相が日本のSDGs達成に向けた取り組みについて発信しました。

今回のSDG サミットは、2030年のSDGs達成期限の中間点に当たります。国連によると、気候災害やロシアのウクライナ侵略などの戦争、コロナ禍やそれに伴う景気の低迷など複合的な要因で、SDGsの達成度がこの10年間で初めて低下したとのことです。SDGs進捗報告書の2023年特別版では、データのある約140のターゲットのうち、軌道に乗っているのはわずか12%で、半数近くは進展がみられるものの、目標達成の軌道から外れています。残りの30%は動きが見られないか、2015年のベースラインより後退していると、強い危機感が示されています。今回のSDG サミットで、国際社会のコミットメントを高め、世界をSDGs達成に向けた道筋に引き戻すことができるのか、注目されます。

関連レポート

・「【1 分解説】国連未来サミットとは？」(2023年6月)

<https://www.dlri.co.jp/report/ld/253572.html>